

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月13日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年2月2日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	スウェーデン
留学先大学	ヨーテボリ大学(日本語名) University of Gothenburg(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	スウェーデン語、英語 / 英語
留学期間	2025年9月～2025年1月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: ビジネススクール 現地言語での名称: School of Business, Economics and Law  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 1月下旬～7月上旬 2 学期: 9月上旬～1月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	57779人
創立年	1891年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (スウェーデンクローナ) (1 現地通貨 = 17 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	
宿舍費	25,300	円	1 か月 4,600 クローナ
食費		150,000 円	
図書費		0 円	
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	930	円	SIM カードを現地購入、月々ギガを 5-10G 購入していた。
現地交通費	2,215	円	3 か月定期 1 回と 1 か月定期を 2 回購入( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		15,000 円	オペラ、美術館、City tour など
旅費(留学中)		300,000 円	8 か国
被服費		15,000 円	コートとトップスを購入
医療費		0 円	
保険費		56,350 円	形態: 明大サポートの保険
渡航旅費		250,000 円	
ビザ申請費		0 円	
雑費		円	
その他		6,000 円	現地団体登録料 ESN と学部のもの
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	28,445 (=483,565 円)	792,350 円	
総計(A+B) ※円		1,275,915 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: \_\_\_\_\_ )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: \_\_\_\_\_ )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に危険地域情報は聞いたことがありません。外務省のメールはチェックしていました。犯罪に巻き込まれたこともありません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や大学のWi-Fiも、外でのデータ通信も困ることはありませんでした。ただ、購入したデータ通信が終わると低速ではなく使えなくなるので、注意が必要でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

海外対応の電気鍋を持って行ったのが便利でした。お米を炊くのと、煮ることが出来ます。キッチンだけでなく、部屋でも使えるのが良かったです。また、レトルトのカレーやパスタソースがあると、忙しい時に便利でした。さらに、私は持っていきませんが、レンジでお米が炊けたり、パスタが茹でられたりする容器があると便利そうでした。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30(ECTS)単位		<input checked="" type="checkbox"/> 認定はまだ未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 留学生がとれる授業リストから選びました。		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Economic Geography: Regional Development		経済地理学: 地域発展
科目設置学部・研究科	ビジネススクール	
履修期間	2026年9月	
単位数	7.5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、セミナー、および見学(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に105分が3回	
担当教授	Hanna Martin	
授業内容	経済地理学という学問分野への入門的な理解を提供する講義。経済活動が空間的に不均一に分布している理由、および地域レベルが本学問において重要な理由について、基本的な理解を深める。講義は、経済地理学の誕生の概観から始まり、地理学の誕生の概観に加え、経済地理学の主要な理論や概念、特に立地理論や対外貿易理論の導入から始まる。また、世界の人口や天然資源の地理的分布に関する基本的な紹介も含まれる。その後、国際貿易の基本的な地理的パターンに加え、世界的な視点から見た製造業およびサービス業の生産における長期的な地理的変化についても扱う。	
試験・課題等	期末試験、会社見学に伴う個人レポート、グループレポートと発表	
感想を自由記入	会社見学に行かせていただき、地元企業の実情を知れたことが良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Economic Geography: Global Production Networks	経済地理学:グローバル生産ネットワーク
科目設置学部・研究科	ビジネススクール
履修期間	2025年10月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、セミナー、および見学(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が4回
担当教授	Sarah Franz
授業内容	グローバル化に関する様々な視点を考察し、グローバル生産ネットワークの地理的構造の分析を行う。具体的には、グローバル生産ネットワーク、グローバル・バリュー・チェーン、多国籍企業、およびオフショアリングやアウトソーシングに関連する主要な概念や理論に焦点を当てる。外国直接投資(FDI)や貿易データに関する国際的な出版物、および公開データベースから収集した情報を用いて、グローバル生産ネットワークの組織構造と地理的分布を分析・評価する。結論として、本講義では、外部環境の変化や新技術の出現が、様々な産業、地域、国におけるグローバル生産ネットワークの変容にどのような影響を与えるかについてを考察する。
試験・課題等	期末試験、グループレポートと発表
感想を自由記入	教授が明るくはつらつとしていて、楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Swedish Model in the Labour Market	労働市場におけるスウェーデン・モデル
科目設置学部・研究科	ビジネススクール
履修期間	2025年11月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が3回
担当教授	Anna Missiaia
授業内容	戦後のスウェーデンの労働市場モデルは、高い労働組合組織率、中央集権的な賃金形成、信頼と相互理解を特徴とする労使関係により、紛争が少なく、政府による所得政策が存在しないことで、国際的に有名である。その他の特徴としては、低い失業率と高い女性の労働力参加率が挙げられる。講義の目的は、スウェーデンの労働市場モデルの特徴、背景、および発展について論じることである。
試験・課題等	期末試験、グループレポートと発表
感想を自由記入	課題で日本とスウェーデンの比較をして興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Growth and welfare in a historical perspective	歴史的視点からみた経済成長と福祉
科目設置学部・研究科	ビジネススクール
履修期間	2025年12月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が3回
担当教授	Anna Missiaia
授業内容	第二次世界大戦後、福祉国家は、経済成長、資本主義、そして社会的再分配が望ましい形で融合したものと見なされていた。その後、この考え方は、理論的にも、また実際の歴史的展開によっても、疑問視されるようになった。本講座では、20世紀から21世紀にかけての急速な経済的、人口統計的、社会的変化に対処するための歴史的時期と多様な手法を探求する。特にスウェーデンの事例に焦点を当て、比較的かつジェンダーの視点から考察する。取り上げるテーマは、所得分配、不平等と平等、ジェンダー平等、分業、そして社会的ニーズに対する市場、家族、公共の解決策の選択である。その一側面として、20世紀後半における女性の労働力参加率の著しい上昇、特に幼い子供を持つ母親の間での上昇が挙げられる。もう一つの側面は、公的保育サービスの大幅な拡充である。
試験・課題等	個人レポート、グループレポートと発表
感想を自由記入	オンライン授業が多く、コミュニケーションが少し難しかったです。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	留学説明会への参加
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、寮の申し込み
	8月～9月	渡航、授業開始
	10月～12月	試験やレポート
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はもともと北欧に興味があり、英語が通じる環境や福祉に特化している点に魅力を感じていました。協定校を調べる中で、特にビジネスを本格的に学べそうだと感じ、この留学先を選びました。実際に渡航してみると、英語が通じない経験は一度しかなく、人々もとても親切で、この環境を選んでよかったと感じています。

実は留学直前は、これまでで一番「行きたくない」と思うほど不安でした。英語力や生活面への自信がなく、慣れない環境でやっていけるのか本気で悩んでいました。ですが、渡航後に出会ったのは、日本人・スウェーデン人を問わず、世界中の素敵な人たちでした。想像以上に充実した半年間を過ごすことができました。

私の留学先は、新入生や留学生向けのイベント、寮のイベントが多く、自然と多くの人と出会える環境が整っていました。そのおかげで、留学だからこそできる経験をたくさんすることができました。

これから留学を志すみなさんは、語学試験や面接、出願、手続きなど、多くの準備に不安を感じているかもしれません。私も同じでしたが、事務室の方や同じ留学先の仲間など、周りの人に支えられながら乗り越えることができました。留学前も留学中も、不安や困りごとは必ずあります。そんな時は、一人で抱え込まず、周りの人を頼ってみてください。私は留学を後悔したことは一度もありません。本当にかげがえのない、素敵な日々でした。これを読んだみなさんが、自分にとって納得のいく留學生活を実現されることを心から願っています。